

2021年度 事業報告

# ANNUAL REPORT 2021

子ども達が平等に  
機会を手にする社会へ



合格者番号

3092	3163	3238	3333	3442
3095	3166	3245	3338	3440
3098	3169	3248	3346	3447
3103	3175	3255	3353	3454
3107	3180	3259	3359	
3110	3186	3263	3366	
	3188	3268		



KIDSDOOR  
FUND

認定NPO法人キッズドア基金

認定NPO法人 キッズドア基金

## 認定 NPO法人キッズドア基金 代表理事 松見幸太郎



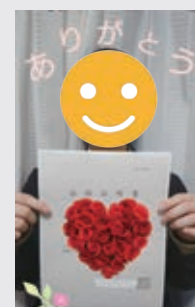
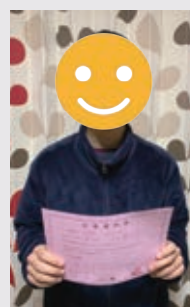
認定NPO法人キッズドア基金は、2019年より、低所得家庭の中高生の進学を支援する奨学金を支給しています。2021年度は、多くの個人・企業にご寄付・ご支援いただき、奨学金支給人数を前年度比1.8倍の1380人へに拡大することができました。

大学進学後の奨学金については充実化が図られてきました。一方で、低所得家庭からの進学には、塾・予備校の費用、受験料・入学金など、進学前の段階で、経済面・学習面・情報面において多くのハードルがあります。

奨学金を受給し、受験を終えた保護者と高校生にアンケート調査を実施したところ、長引くコロナ禍の影響で保護者の収入減少や失業に直面しており、多くの高校生が進学をあきらめる寸前だったり、「受験校を減らした」「塾に通えなかった」などの実態がわかりました。「塾に通えず、この奨学金で参考書を買った」「受験料を払えた」「子供の人生が変わった」との声が届きました。

受給者アンケート調査の結果について、2022年4月に文部科学省で記者会見を行い、5月には、文部科学省へ受験支援に関する提言を提出しました。奨学金の支給に加え、社会へ支援を訴える活動にも積極的に取り組んで参ります。

- P2 代表理事挨拶
- P3 奨学金支給実績
- P4 受給者アンケート調査 ダイジェスト
- P5 受給者アンケート調査 詳細
- P8 受給ご家庭からの声
- P9 受験サポート
- P10 支援の拡充を訴える活動・メディア掲載
- P11 会計報告・支援企業
- P12 団体概要



# 2021年度 奨学金支給実績

2020年度 764名 → **2021年度 1380名**

2021年度は4つの奨学金プログラムを実施しました。多くの個人・企業からのご支援をいただき、支給人数を大幅に拡大することができました。

支給人数  
**1.8倍**



## 2021年7月 受験サポート奨学金

5万円×308名(高3・浪人)、  
3万円×105名(高2)

大学・短大進学を希望する、高2・高3・一浪生へ、受験準備を支援する奨学金を支給(所得等要件あり)。認定NPO法人キッズドアより、オンライン学習ツールや受験情報を提供。

## 2021年12月 進学応援奨学金 supported by 日本生命

5万円×391名(高3・浪人)

大学・短大・専門学校進学を希望する、高3・一浪生へ、進学準備を支援する奨学金を支給(所得等要件あり)。

## 2021年12月 英検奨学金

4,900円～12,600円×317名  
(中高生)

中高生へ、英検受験代を支給(所得等要件あり)。

## 2022年3月 新生活準備奨学金

10万円×259名(高3・浪人)

進学・就職する高3・一浪生へ、新生活準備を支援する奨学金を支給(所得等要件あり)。



# 受給者アンケート調査 ダイジェスト

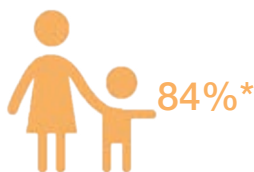
## 2021受験サポート奨学金、進学応援奨学金

※数値は両奨学金の合計

すでに2年以上、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、親子共々、非常に厳しい状況で大学受験に挑みました。受給家庭の実態、アンケート結果からは、受験をあきらめようと考えた、1校しか受験できなかった、塾に通えなかった、などの声の一方で、この奨学金があったから受験できた、という感謝の声も多く届いています。

### 奨学金受給家庭の実態(応募時)

一人親世帯の割合



\*他に児童養護施設、里親家庭6%

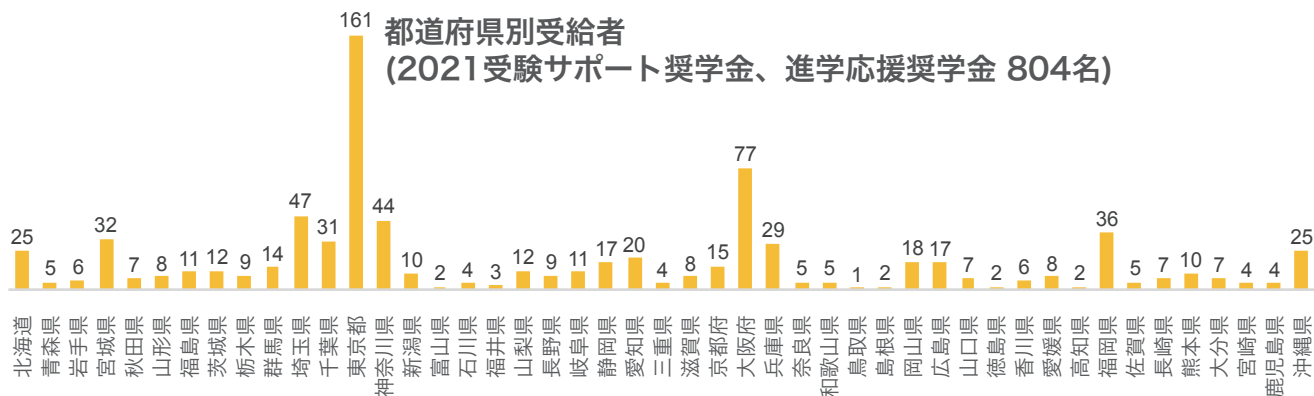
コロナによる大幅な減収・失業  
緊急小口・住居確保給付金受給世帯



世帯年収



### 都道府県別受給者 (2021受験サポート奨学金、進学応援奨学金 804名)



### 進路



- ・進学：86%  
(大学・短大73%、  
専門学校13%)
- ・浪人：6%
- ・就職・その他：8%

### 奨学金の活用先



- ・受験料：74%
- ・交通費：38%
- ・参考書・テキスト：35%
- ・入学金：25%
- ・模試代：16%

### コロナ禍による受験への影響 (受験生)

- ・受験する学校の数を減らした：67%
- ・進学をあきらめようと考えた：47%
- ・予備校・塾に通えなかった：44%

### 経済的理由による進学への影響 (保護者)

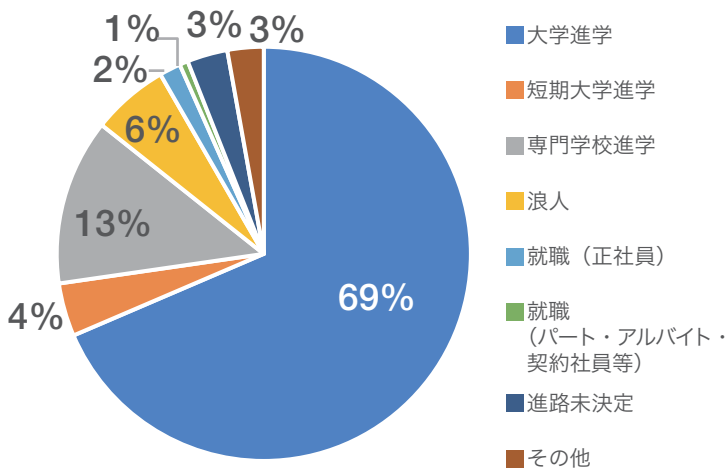
- ・受験学校数を減らした：57%
- ・塾・予備校に通わなかった・減らした：56%

●調査方法、期間：WEBアンケート、2021年3月5日～3月27日(約3週間)

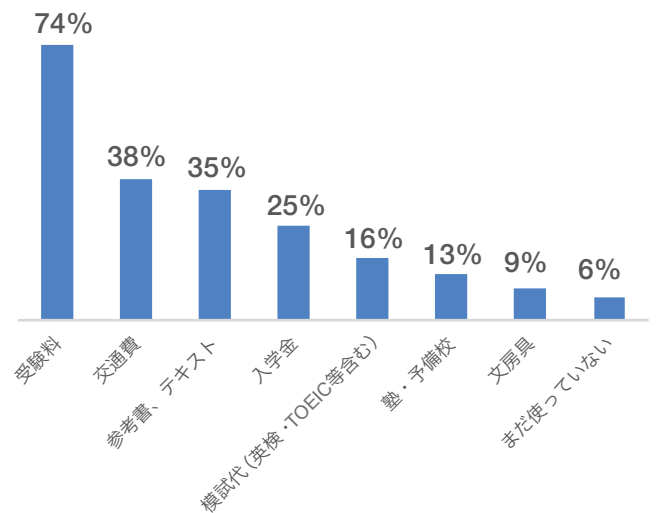
回答数：受験サポート奨学金・進学応援奨学金を受給した高3・浪人生家庭601件(回収率約86%)

# 受給者アンケートから ※数値は両奨学金の合計

## 受給者 進学先

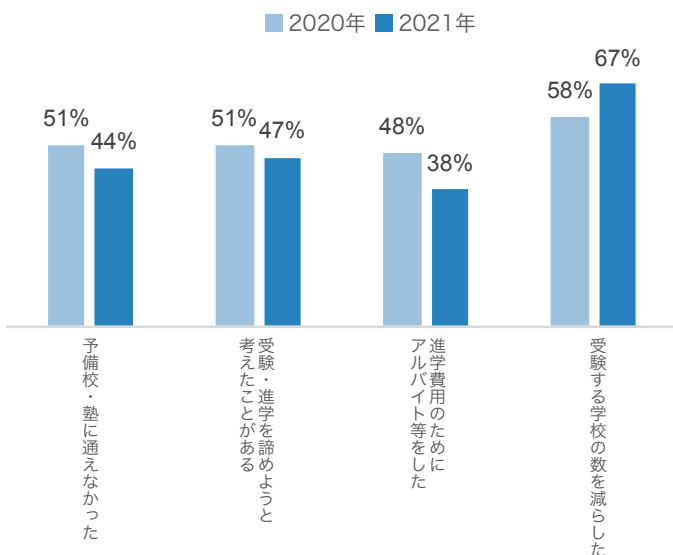


## 奨学金(5万円)の使途



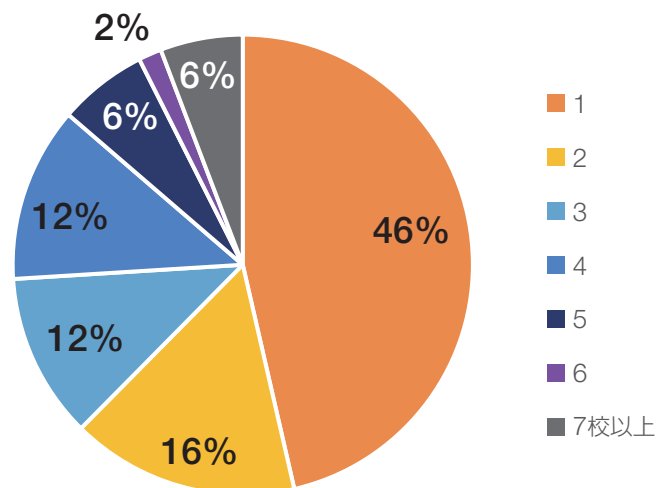
回答者の86%が進学を果たしましたが、経済的に難しく進学をあきらめた、1校しか受験できず浪人となった、と回答した受験生もいます。奨学金の使途からは、受験料の負担が大きいことがわかります。

## コロナ禍による受験への影響 (受験生回答)



※大学・短期大学進学者のみ

## 受験校数

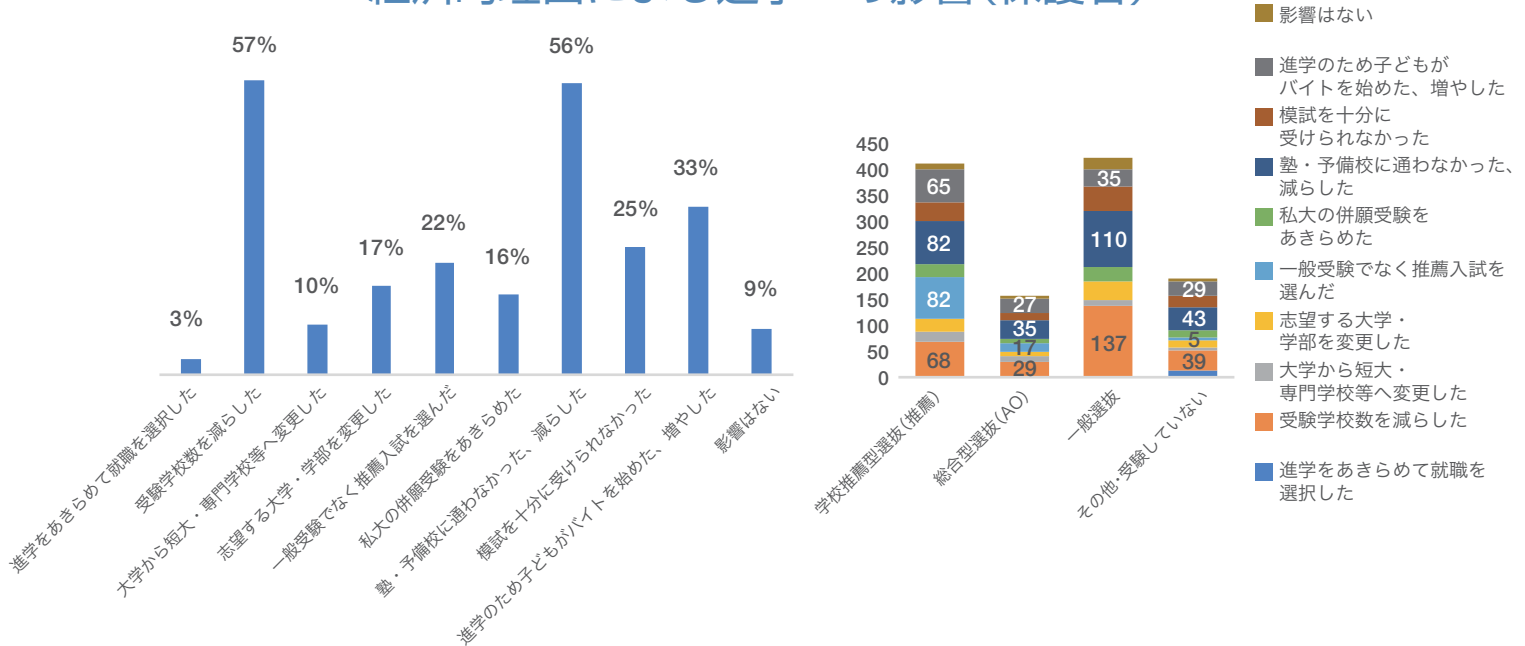


※大学・短期大学進学者のみ

受験生に尋ねたところ、67%が“受験する学校の数を減らした”と回答しました。通常であっても厳しい大学受験において、塾や予備校等に通うなどの受験準備を十分に行うことができない層が、1回しか受験チャンスがないというさらに厳しい状況に追い込まれています。

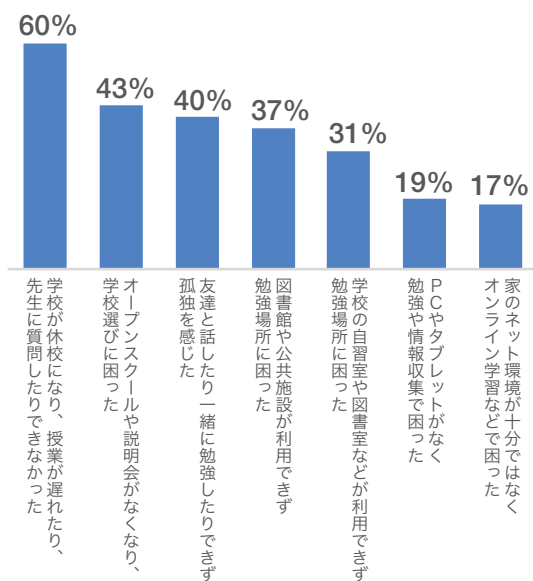


## 経済的理由による進学への影響(保護者)

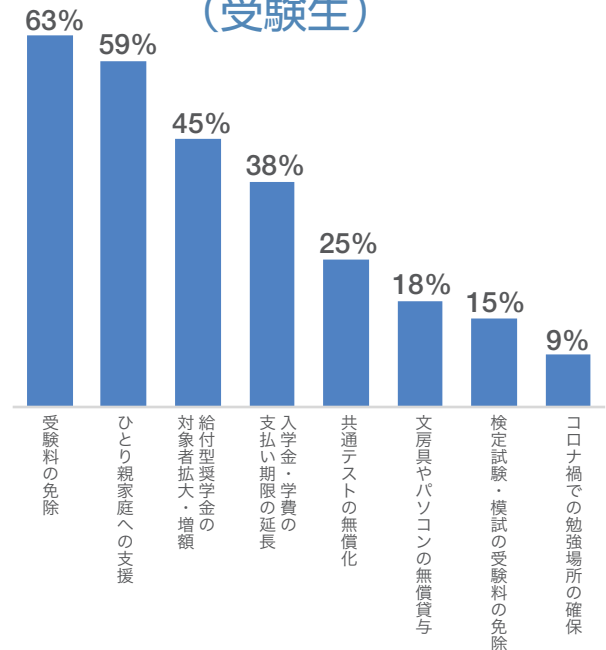


経済的理由による進学への影響について、「受験校数を減らした」、「塾・予備校に通わなかった、減らした」が50%超と回答。推薦入試で受験したうち82人が、経済的理由により「一般入試でなく推薦入試を選んだ」と回答。大学側が多様な受験ルートを設定しているにもかかわらず、困窮家庭の子どもは選択肢は経済的理由により狭められているといえます。

## コロナの影響で困ったこと(受験生)

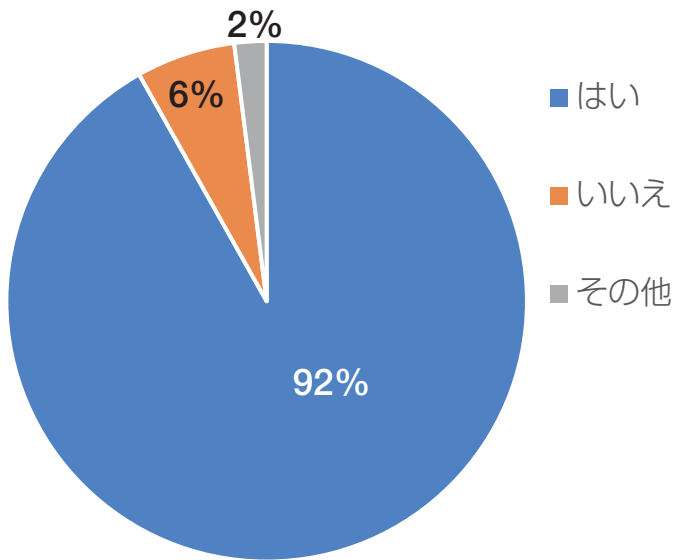


## 受験制度への改善要望(受験生)

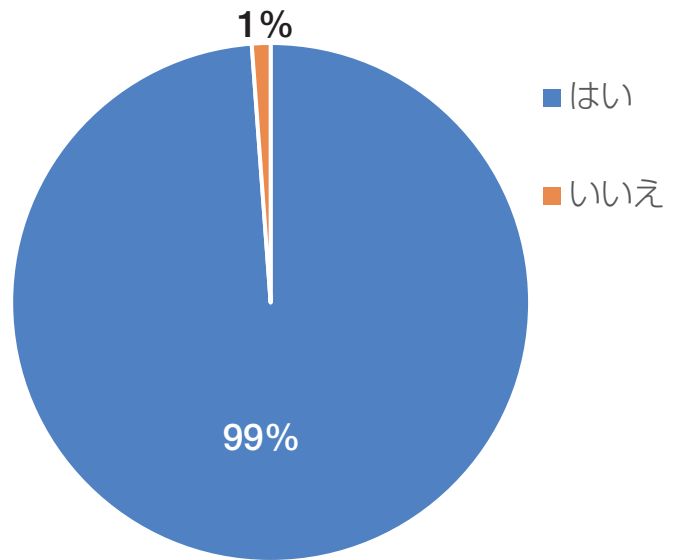


60%の受験生が、学校が休校になったことで困った、40%が孤独を感じたと回答しています。特に、塾・予備校に通えない困窮層の高校生は、十分な学習の機会や受験対策をする場がなく、圧倒的に不利な状況にあります。受験制度に改善ほしいこととしては、63%が受験料の免除、その他、ひとり親家庭への支援、給付型奨学金の拡大、入学金・学費の支払い期限の延長を挙げています。

### 保護者に気を遣った (受験生)

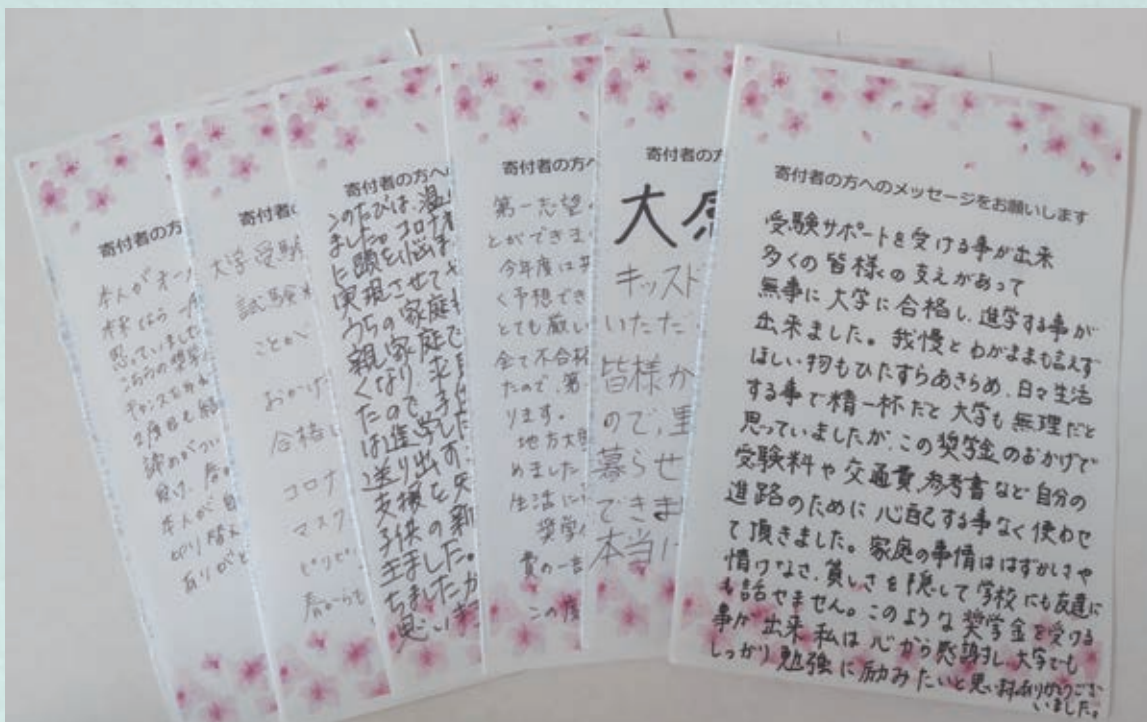


### 奨学金が受験の後押しになった (受験生)



90%超の受験生が、「経済的な面で保護者に気を遣った」と回答しており、家庭の厳しい経済状況から親に迷惑をかけられない、という理由で進学に消極的になる状況がうかがえます。99%の受験生が「この奨学金が受験の後押しになった」と回答しており、奨学金をもらえたことで前向きになれた、親に負担をかけず受験ができ安心した、という声が届いています。

### ●受験生からメッセージが届きました●



## 受給ご家庭からの声

塾にも通えず本人の実力がどれくらいかも分からず、どうしても大学に行きたいと言われてかなり確実に受かりそうな大学を私は進めました。この支援のおかげで**受験大学を1つ増やしてXX大学を受ける事が出来、合格する事が出来ました。**

全員が受かる見込みのない公募型推薦は、子供が気を使い受験しないと言っていたのですが、進学応援奨学金に採用されたおかげで、**安心して受験ができ合格を頂けることが出来ました。**



### 保護者から

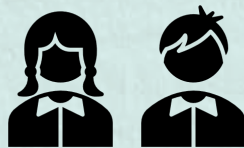
クラスメイトたちと違い、**たった2校しか受けていませんが、それでも共通テスト含め7万円掛かりました。**我が家には死活問題でしたので本当に助かりました。

**コロナで仕事解雇され生活だけでも大変なのに、受験で大きなお金が色々な場面で必要になりました。銀行にいったら母子家庭だと返済不安があるので審査してもらえませんでした。**

この寄付金がなかったら、**入学金がたりず、諦めて就職も視野にいれない**とだったので助かりました。コロナにもなり収入が減り不安でしたが、ありがとうございました。

受験にかかる費用などで受験に対して日々膨らんでいく心配や不安で胸がいっぱいになっていく中で、このような制度のおかげでその心配も少しずつ減っていきました。

寄付のおかげで、**2校分多く受験ができ、合格のチャンスを掴むことができました。**国公立に受かったのはご寄付のおかげで、励みになったからです。



### 受験生から

親からの援助がなく、**児童養護施設を離れて一人暮らしをするため、受験料と受験に伴う交通費はとて大きな支出でした。**でも奨学金をいただくことができ、そのお金で受験をすることができました。

進学はたくさんのお金がかかる、だから**親に迷惑をかけてしまう。と、進学に対してネガティブに考えてしまい、迷惑なのではないか**と患っていました。奨学金のおかげで親の負担を軽減することができ、私も**進学に前向きになることができました。**

**勉強のために、Wi-Fiがほしかったです。**無料Wi-Fiを求めて自転車で近くのコンビニへ行ってました。

**受験料が35,000円もするのでお金は水のようになくなります。**もう少し頑張る受験生に優しい世の中になって欲しいです。



# 受験サポート

奨学金に加え、情報支援、物資支援で受験生を応援しました

## 1.LINE情報提供(受験サポート奨学金)

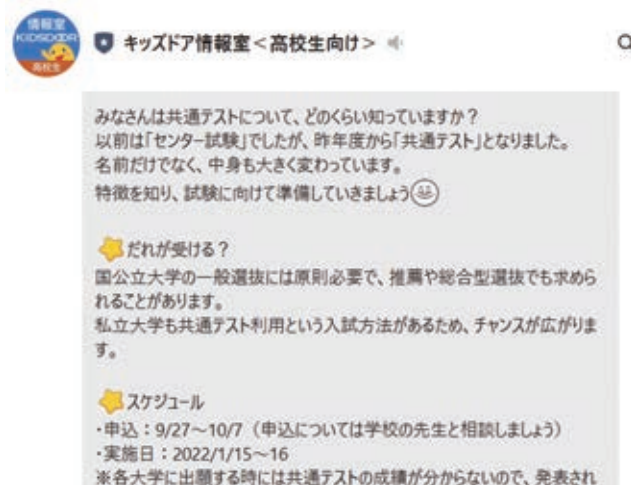
※認定NPO法人キッズドアより提供

媒体: LINE

頻度: 週1回

期間: 7月から3月まで

内容: 受験情報、学習支援情報、奨学金情報、  
応援メッセージ、合格体験記、  
イベント情報



## 2.大学奨学金セミナー(受験サポート奨学金)

※認定NPO法人キッズドアより提供

日本学生支援機構による奨学金セミナー  
奨学金検索サイト Crono 奨学金による民間奨学金セ  
ミナー  
などオンラインイベントを開催しました。

わかりにくい、見つけにくい、という声が多い奨学金  
をわかりやすく解説していただきました。



## 3.物資・メッセージ送付

### 〈受験サポート奨学金〉

受験直前の2021年12月に文具・カイロ等と、合格祈  
願メッセージを添えて『受験生応援パック』を送付。

※認定NPO法人キッズドアより提供

### 〈進学応援奨学金 supported by 日本生命〉

2021年12月に、キットカットやシャープペンシルな  
どに、日本生命の従業員の方々の直筆メッセージを同  
封し、送付。“大変励まされました”、“あと一歩、親子  
で元気をもらいました”といった声が届きました。



# 支援の拡充を訴える活動

## ■文部科学省にて記者会見

2022年4月27日、キッズドア基金が実施した奨学金の受給者アンケートについて、以下の3点をご報告いたしました。

- 困窮家庭の大学進学アンケートの結果
- ゴールドマン・サックス 大学受験給付型奨学金 募集開始
- 大学進学機会の公平性確保についての緊急提言



多くのメディア関係者にご出席いただき、コロナ禍の影響やアンケート結果の詳細、受験生やご家庭からの声、そして提言について質問が寄せられ、質疑応答を行いました。

## ■大学進学機会の公平性確保について文部科学省に提言



2022年5月13日、認定NPO法人キッズドア理事長 渡辺由美子および認定NPO法人キッズドア基金代表理事 松見幸太郎は、文部科学省を訪問し、鰐淵政務官に対し、大学進学機会の公平性確保についての緊急提言を提出しました。

1. 大学等の受験料の公的支援制度を作ってください
2. 高校生等奨学給付金の対象家庭の拡充と増額を
3. 奨学金の給付時期と入学金・授業料の納入時期のギャップを解消してください
4. 大学受験勉強のための環境整備

# メディア掲載

キッズドア基金の取り組みはメディア各社で取り上げられ、困難な状況にいる子どもの実態を伝え、社会に変革を訴えるきっかけとなっています。

### NHKニュース(2021年4月)



### 朝日新聞(2021年5月)



### 東洋経済オンライン(2021年6月)



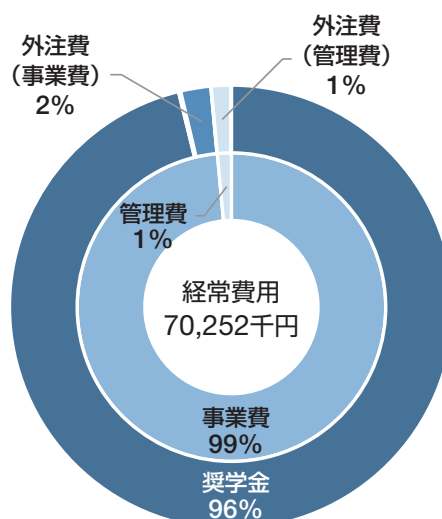
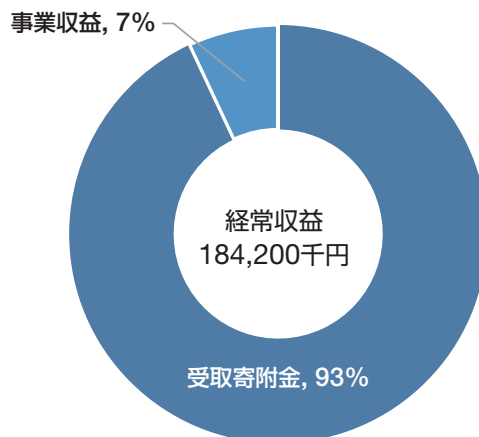
### 日本経済新聞(2021年10月)



# 会計報告

令和3年度(2021年度) 活動計算書		
(単位:円)		
科目	金額	小計・合計
<b>経常収益</b>		
受取寄附金		171,359,041
事業収益		12,841,033
その他の収益		367
<b>経常収益計</b>		<b>184,200,441</b>
<b>経常費用</b>		
<b>1 事業費</b>		
奨学金支援事業	67,557,150	
支払手数料	110,038	
外注費	1,540,000	
租税公課	20,000	
<b>事業費計</b>		<b>69,227,188</b>
<b>2 管理費</b>		
外注費	983,428	
支払手数料	41,850	
<b>管理費計</b>		<b>1,025,278</b>
<b>経常費用計</b>		<b>70,252,466</b>
当期経常増減額		113,947,975
税引前当期正味財産増減額		113,947,975
法人税、住民税及び事業税		139,800
前期繰越正味財産額		34,044,070
次期繰越正味財産額		147,852,245

※次期繰越正味財産額には、2022年度に実施予定の奨学金事業に対する受取寄附金を含んでおります。



## ご支援いただいた企業・助成金(2021年度)

キッズドア基金の活動は、多くの個人および企業からの寄付によって成り立っています。  
ご支援に心よりお礼申し上げます。



ゴールドマン・サックス



日本生命保険相互会社



株式会社 ランディックス



テサテープ株式会社

新型コロナウイルス感染症 拡大防止活動基金



新型コロナウイルス感染症:拡大防止活動基金  
第5期助成(助成金)

キッズドア基金の活動は、みなさまからのご寄付によって支えられています。  
今年度も、ご寄付を受け付けております。  
ご支援は奨学金の原資および組織運営に使わせていただきます。

## ■団体概要

# 認定特定非営利活動法人キッズドア基金

URL : <https://kidsdoorfund.com/>



2018年1月、認定NPO法人キッズドアの姉妹団体として設立。日本の明るい未来のために子どもと社会をお金でつなぐ基金として、困窮家庭への奨学金や、日本全国の子どもの貧困に取り組む団体の支援に取り組んでいます。



## マンスリーサポーター

毎月1000円からご寄付いただけます。

## 【ご寄付方法】

<https://kidsdoorfund.com/donate/>



## 都度寄付

好きなタイミング、金額でご寄付いただけます。

## ■クレジットカード



## ■銀行振込

みずほ銀行  
支店名 新川支店  
口座番号 普通 1155103  
口座名義 特定非営利活動法人キッズドア基金



## 遺贈・相続財産寄付

お問い合わせ・ご相談ください。

## 【寄付金控除について】

キッズドア基金への寄付は  
「寄付金控除」の対象になります。



<https://kidsdoorfund.com/deduction/>

## 【お問い合わせ】

〒104-0033東京都中央区新川2-1-11

八重洲第一パークビル7階

TEL : 03-5244-9993

e-mail : [info@kidsdoorfund.com](mailto:info@kidsdoorfund.com)

キッズドア基金 検索

